





<p>教具名 車椅子用補助ボード</p>	 <p>表面</p>
<p>〈教材のねらい・使い方〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチャー型の車椅子を使用している児童が、授業時にサイドガードを外して腕の自由度を上げた際に、腕が下に落ちないようにボード状の補助具を作成。 	<p>裏面</p> 
<p>材料及び作成の工夫等</p>	
<p>〈材料〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きめの段ボール箱を使用 ・強度を上げるために、両面テープと木工用ボンドで段ボールを2枚貼り合わせ、重石を乗せて一晩圧着させた。 ・車椅子のマットの下に入る部分の大きさを考えて、サイズを決める。裏面には、高さ調整用の段ボール片とずれ止め用のペグ段ボールを付けた。(上の裏面写真参照) 	
<p>児童生徒の使用している様子等</p>	
<p>〈 車椅子に移乗した時の学習の様子 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全を確保してストレッチャー型の車椅子のサイドガードを外す。 ・サイドガードを外さずに手や腕の動きを支援するのは自由度が制限されるが、このボードを使用することにより、腕が車椅子座面より下がることなく動きを支援できるようになった。また、ある程度の強度もあるので、ボードの幅内であれば腕のガードの役目も担っている。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div data-bbox="368 1565 756 1854">  <p>○ ビフォー</p> </div> <div data-bbox="871 1565 1262 1854">  <p>☆ アフター！！</p> </div> </div>	